

地域住民が共同で里山林整備を実施した事例

事業名：里山保全活用支援事業

市町名：呉市

取組のきっかけ・経緯

・山間の小規模集落で地域住民が共同で里山林整備を行うことで、居住環境の改善となり地域の活性化につなげていく。

今後の展開

・里山林の整備により、居住環境の改善や農業生産活動の振興につながる活動をしていく。

取組の内容

- ・事業主体：女垣内里山づくり組合
- ・実施場所：呉市安浦町大字女子畑地区
- ・業務量：山林内の伐採0.2ha
- ・業務金額：110,182円
- ・業務期間：令和2年11月11日
～令和3年2月25日(3年目)

取組後の感想

【良かった点】

- ・鳥獣害被害対策として、緩衝地帯の整備をした。
- ・人の手が入っていない里山林を整備できた。

【整備前】



【整備後】



森の達人研修会(森林整備の基本知識と道具の使い方の講習会)を開催した事例

事業名: 森林・林業体験活動支援事業

市町名: 呉市

取組のきっかけ・経緯

・森林整備の基本知識と道具の使い方の講習会を開き、里山整備をしてもらえる環境を作っていく。

今後の展開

・森林ボランティア等の森づくり活動参加へつながるように研修をしていく。

取組の内容

- ・事業主体: 呉市
- ・実施場所: グリーンヒル郷原
- ・業務委託先: (一社)広島県森林協会
- ・業務量: 1日(講師2人, 参加者12人)
座学 森林整備に必要な基本知識
実習 刈り払い機, チェンソーの実演
- ・業務金額: 396,000円
- ・業務期間
契約期間: 令和2年10月19日～12月28日
研修日: 令和2年11月14日



取組後の感想

【良かった点】

- ・コロナ禍の中ではあったが、12人の参加者(男性9人, 女性3人)となった。
- ・アンケートで研修の内容がちょうど良いが11人であった
- ・チェンソーが自分でも使えるようになった。

【悪かった点】

- ・アンケートで実習時間が少なかったとあった。

